



「#鯛たべよう」オンライン授業

宇和島水産高校と仙台市の湯元保育園をインターネットでつないで、オンライン授業を行いました。実際に鯛をさばく様子やクイズなどを交えて鯛についての紹介があり、子どもたちも大盛り上がりでした。保育園の給食には宇和島産養殖真鯛を使ったメニューが登場し、おいしいとすぐに完食していました。



7月2日(木)

パフィオうわじま中央図書館「大竹文庫」開設 8月1日(土) 午前10時～(予定)

宇和島を拠点に世界で活躍する現代美術家「大竹伸朗」さん。去年はパフィオうわじまホールのどん帳制作に協力していただきました。8月1日(土)には、自身の著作物と蔵書(ともに本人選)を展示する「大竹文庫」が中央図書館3階に設置されます。ロゴデザイン、看板、ケース内展示、すべて大竹さん自身が手がけた贅沢な「文庫」となっています。「大竹伸朗」の世界観や作品の生まれた背景を想像しながら、現代アートの魅力を発見しませんか。

■大竹伸朗(美術家)

- ▶ 1955年東京生まれ
- ▶ 1979年より国内外で作品発表を開始
- ▶ 1988年宇和島市に制作の拠点を移す
- ▶ 2006年初回顧展「大竹伸朗 全景 1955 - 2006」(東京都現代美術館)以降、東京、香川、ソウル、ロンドン、シンガポールなどで個展開催
- ▶ 光州ビエンナーレ(韓国)、ドクメンタ(13)(ドイツ)、ヴェネチア・ビエンナーレ(イタリア)、ヨコハマトリエンナーレ、瀬戸内国際芸術祭はじめ国内外の企画展に参加
- ▶ おもなパブリックワークとしては「シップヤード・ワークスシリーズ」「はいしゃ」「直島銭湯/I♥湯」(直島、香川)、「女根/めこん」(女木島、香川)、「針工場」(豊島、香川)、「北の空に浮かぶカタチ」(どん帳、札幌市生涯学習センター)、「種景」(タペストリー、伊方町役場)、「のぞき岩」(どん帳、宇和島市学習交流センター)など
- ▶ エッセイ集「既にそこにあるもの」「ピ」(ともに新潮社)、絵本「ジャリおじさん」(福音館書店)など著作物多数、エッセイ「見えない音、聴こえない絵」は月刊文芸誌「新潮」に現在も連載中
- ▶ 最新エッセイ集「ナニカトナニカ」(新潮社)
- ▶ 2014年芸術選奨文部科学大臣賞受賞

【問合先】中央図書館 ☎22-1065



【ontakeshinro.com】